



サクラの管理について説明する黒坂さん。

参加者は熱心に聞き入っていました。

文化財について学ぶことを通じて、市民の皆さまのすそ野にある身近なものとして感じていただくことを目的に企画しています。今年度の第1回目（全4回予定）を去る7月31日に角館庁舎で開催しました。

樹木医で仙北市さくらアドバイザーの黒坂登さんを講師に迎え、「身近な文化財を知ろう！花咲か爺さんのサクラ管理テクニック」と題して講演いただき、「サクラは手をかけるほど応えてくれる」という経験談に17人の参加者は聞き入り、具体的なサクラ管理のアドバイスを求める場面もありました。

第1回

文化財講習会を開催

サクラの管理を学ぶ

どこまで飛ぶかな
工作教室で紙ひこうき作りに挑戦

8月3日、田沢湖図書館で夏休み中の小学生を対象に遠くまで飛ぶ紙ひこうきを作る工作教室が新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催され、12人が参加しました。

講師は、岩手県滝沢市在住、元県立学校教諭で現在は中学校の非常勤講師をされている柳生達雄さん。柳生さんは、子どもたちに身近な材料を使って楽しい工作を教えてください。

紙ひこうき作りの最初は、飛行機の知識から。なぜ飛ぶのか、その理由を子どもたちにわかりやすく説明しました。飛行機のお話があった後は、いよいよ紙ひこうき作り。ケント紙にあらかじめ描かれた胴体や翼など12個のパーツを丁寧にハサミで切り取り、それをのりで貼り合わせます。ここで柳生さんは「紙ひこうきは軽くて丈夫に作る」とそのコツを教えてくださいました。子どもたちはあまり塗り過ぎないようにスティックのりで貼り合わせ、完成すると「できたー」と笑顔で柳生さんに報告していました。

完成後は、ほどよい風が吹く同



遠くまで飛んでいけ！

図書館前の駐車場でみんなで飛ばしました。「飛んだー」「すごいー」と無邪気に喜ぶ子どもたち。参加した田口恭瑚さんは「今まで自分で作ってもあまり飛ばなかったけど、今日作った紙ひこうきは飛んで、とても嬉しかった」と笑顔で話してくれました。

これまで教師として長年にわたり多くの子どもたちと接してきた柳生さん。お話を伺うと「今の子どもたちは笑顔が少ない。紙ひこうき作りを通じて明るく笑う本来の子どもの姿を取り戻して欲しい」と話しました。



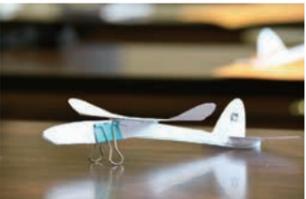
子どもたちに教える柳生さん。



みんな真剣！



手際よく切り取っていきます。



見事完成！さあ、飛ぶかな？

自然や環境を守るために
クリーンアップを実施

8月8日、角館漁業協同組合の若手組合員によるルーアフィッシングクラブ「P.M.C KAKUNODATE」（今野正則会長）が、古城橋から横町橋にかけて、桧木内川河川敷のクリーンアップ活動を行いました。

今野会長は「楽しく釣りをするため、自然や資源を守ることは重要。地域の未来のアングラーのためにも、引き続き活動していきたい」と話しました。



クリーンアップ活動を行ったP.M.C KAKUNODATEの皆さん。

生保内公園
新しい遊具が完成



ぜひ生保内公園で遊んでみてください。

生保内公園にコンビネーション遊具が完成しました。幼児向け、児童向けのすべり台にアスレチック的な遊びを装備。回遊しやすいレイアウトの遊具です。皆さん、たくさん使って遊んでね！

また、園内には数本の散策路ルートとその奥には安情の滝があり、プチトレッキングもおすすです。なお、自家用車は公園入口の手前の市営駐車場をご利用ください。

花葉館入湯者

節目の25年目に250万人達成



左から249万9999人目の安達徹さん、250万人目の菅原さん、高橋代表取締役、高橋農林商工部長。2日に1回ぐらいのペースで訪れるという菅原さんは突然のお祝いに喜んでる様子でした。

8月1日、角館温泉花葉館（高橋義男代表取締役）の入湯者が250万人を達成しました。

記念すべき250万人目は、菅原フミ子さん（角館町西長野）。

当日はくす玉が用意され入館を祝うセレモニーが行われました。高橋代表取締役から賞詞や花束、記念品などが贈られた菅原さんは「普段は平日に来ることが多いが、たまたま日曜日に来たら250万人目と言われてびっくりした。花葉館のお湯は浸かると心身ともにゆっくりする。これからも通い続けたい」と話しました。

花葉館の入湯者250万人は、平成8年にオープンして25年目の達成となりました。

子ども
演劇体験講座 2021

役にたりきって



役にたりきって演じる子どもたち。



他校の生徒とも交流でき充実した4日間になりました。

8月6日～9日の4日間、仙北市民会館とわらび劇場を会場に「子ども演劇体験講座2021」が行われました。演劇体験を通じて、表現力やコミュニケーション能力の向上を目指すもので、今年は神代小学校6年生1人と、角館、生保内、西明寺、桧木内中学校の2・3年生5人が参加し、上演中のわらび座ミュージカル「空！空！空！！」から4場面を演じたほか、ダンス、詩の朗読を発表しました。

講師は、同作に出演しているわらび座俳優の久保田美宥さんと佐藤千明さん。シアターゲームやダンス、台本読みなど丁寧な指導により、緊張気味だった子どもたちもすぐに打ち解け、声の出し方や感情の込め方、体の

動かし方などを試行錯誤しながら練習を重ねました。

最終日の9日、保護者や学校関係者、わらび座関係者など多くの方々を前に発表を行い、役になりきり感情を込めて演じる姿や、朗読とともに自分自身の夢を叫ぶシーンに、客席から大きな拍手が送られました。

感想発表で子どもたちは、「心を込めて演じられてよかった」、「感情があらわになる役が難しかった」、「演じきれない部分もあってちょっと悔しい」、「来年も参加したい」と話していました。

1日2時間ずつ4日間という短期間でしたが、スキルアップと交友を広げる充実した活動となりました。